



「花巻銀河ブルー」の出荷直前の手入れ作業。良い商品を出荷できるよう、丁寧にこだわって作業を進める



数多くあるビニールハウスから、出荷物を台車に乗せて運ぶ



出荷時期を迎えた一面に咲く「シクラメン」

Profile

平成25年4月に就農し、祖父・祖母・父・母と5人で暮らす。「シクラメン」10万鉢や「カーネーション」4万鉢、「リンドウ」4万鉢など鉢花を中心に生産する(有)岩手園芸で働く。JA鉢花生産部会の部会員でもある。モットーは「1日1日を精一杯頑張る」。



キジトラを飼っていて
仕事の合間に
癒されています

趣味・マイブーム
ラーメンを食べる事

週3回はラーメンを食べており、
酢とラー油を入れるのがこだわりです。
最近では、辛めのラーメンに
はまっています。

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農
追い人」と併せ、「農業に夢や希望
を持って働く人」という意味を
込めています。毎月、若手農業
者や新規就農者を紹介します。

GREEN SOLDIERS

佐藤 隼
花巻市



ちょっと
いい話

花巻銀河 ブルー®

「花巻銀河ブルー」は、平成27年にデビューしたJAいわて花巻だけで生産するオリジナル品種の鉢植リンドウです。耐暑性に優れ、光沢のある濃い青色や大きく開く花が特長です。

魅力 光沢のある濃い青色や室内観賞で1カ月以上楽しめる期間の長さ、一輪の大きさや一鉢に咲く花数の多さなどが魅力の品種です。

名前の由来 開花した花弁の深い青色と、雄しべ・雌しべの乳白色の群生が星空のように見え、花巻の偉人・宮沢賢治が描いた童話「銀河鉄道の夜」の世界観をイメージできることから名付けました。

出荷時期 鉢植リンドウの需要期は9月の「敬老の日」ですが、花巻銀河ブルーは「最も美しい状態でお客様に届けたい」という生産者の思いから、産地・消費地ともに気温が低下し品種の魅力を最大限に引き出せる10月にこだわって出荷しています。

ぼらーの花巻 CONTENTS

●No.249 / 平成30年(2018)11月号

02 農追い人
GREEN SOLDIERS

04 特集
農業まつり

10 ぼらーのNEWS ●地域の話
12 あぐりネット
13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
14 Information ●理事会だより / 監事会だより
16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

代々受け継がれる花栽培
父の背中を追う「継承人」

花巻市にあるビニールハウスを訪ねると、色鮮やかな花々が辺り一面に咲き誇っていた。多種多様な花を栽培し、周年出荷を行っている(有)岩手園芸。代表取締役であり父でもある佐藤巧さんの背中を追う、情熱を燃やすのが長男の隼さんだ。

ビニールハウスは幼き頃の遊び場。物心付いた頃から「花」が身近な環境で育った。そんな隼さんが家業を継ぐ事を考えたのは花巻農業高校在学中の事だ。昭和39年に祖父が設立した農園を引き継ごう。そう思い、千葉大学に進学。花を専攻して2年間学んだのち、茨城県の子世代育成会社で生産を中心に出荷方法や販売などについて実習を積んだ。隼さんは「勉強と経験の多くが今に活かされている」と当時を振り返り話す。

現在もその会社の社員と年に数回会う機会があり、貴重な情報交換の場となっている。

平成25年に帰郷、就農した隼さん。(有)岩手園芸の社員として土入れ・かん水・出荷作業など生産に携わる傍ら、鉢花生産部会の一員として巡回や検討会などの部会行事に参加。JAオリジナル品種の鉢植リンドウ「花巻銀河ブルー」の栽培技術を磨いている。ときには、産地を担う期待の星として市場関係者にプレゼンテーションを実施。品種の魅力をPRしている。そんな隼さんにやりがいや誇りを、「お客さんからメッセージが届いたとき」と笑顔を見せる。「とても美しい花。生き生きと咲いています。日々の作業、大変だと思いますが頑張ってください。」丁寧な書き綴られた言葉一つ一つが隼さんを支えている。

隼さんは「早く世代交代できるように経営や営業についても勉強していきたい」と意気込む。将来の3代目の挑戦は始まったばかりだ。